常磐文藝

名月俳見記（三）

をさなきものにも風流の心はありけりされど　盜人の首領歌讀む今日の月　蕉村

の感心なのもあれど　名月や女だてらの居酒のみ　一茶

の轉法肌もあるべからん　名月や淺間が岳も靜なり　許六

憤煙もただ白雲にまかひて　ふわり〳〵と　雲をり〳〵人を休める月見哉　蕪芭

あゝ首節の痛くなりたる事よ　名月や兎の渡る諏訪の海　蕪村

冬ならば狐が渡るべきに兎　では八重垣姫も人形振はせ　すもあらなん　名月や秋月殿の艤ひ　仝人

胴の間洩るゝ琴の音は朝顏　の唱歌ならずや　名月や夜を人住まぬ峯の茶屋　仝人

は是非もなけれど　寢た家を晩らやうなり今日の月　乙由

の思はん程も恥しけれど　富士をいさ山の端にせん　今の月　支考

のあらん限りはいもいねざらん　名月や君かねてより寢ぬ病　太祇

に羅りたるにもあらざれど　芋を煮る鍋の中迄月夜かな　許六

南

前略、本校は遂年生徒數激增の爲め從來の校舍にては狹溢を告ぐるに至り殊に本年新學期より實科高等女學校程度に準據し校務一層擴張致し候に就いては校舍新築の必要を感じ豫てより平町字搔槌小路（鐵道踏切傍）に敷地を卜し新築中の處畧ぼ竣工仕候間本月十三日午前十時落成式を擧行し當日より移轉開校可仕此段謹告候也　早々

尙本月十四、五六の三日間本校に於て生徒製作品展覽會、並びに磐城中學校×會繪畫展覽會、生花陳列會、光影會寫眞展覽會等の催しも有之候に付御來觀被下度候

平陽實科女學校
校長　酒井こゝヨ

電話開設御披露

今般電話設置仕り本日より開通致し候間倍舊の御愛顧御引立の程奉懇願上候

番號		
六一六	仲田町	古川四郎
六一七	南町	魚敬田中敬吉
六一八	鎌田町	雜貨商 武子國太郎
六一九	南町	小松屋旅館 鈴木こゝッ
六二〇	一丁目	カフエータヒラ 大沼與之吉
六二一	一丁目	磐井屋 渡邊留三郎
六二二	驛前	森本盛一

電話開設
御披露
御注文品は多少に拘らず
電話二七五番を御利用の上
御下命を乞ふ
平町二丁目橫町
海産物鮮魚商　大堀商店

大々的勉強仕
☒小量ニテモ御用命ノホト願マス
迅速ニ配達致シマス（コンクリート用）
砂利及砂
中山岩採堀販賣
此レニ附隨スル土工請負業
南町火見下
電話呼出二六七番
石材商會
主　鈴木彌米

株式賣買中値
電話に金融致します

銘格	拂込	時價	
磐城銀行	四	五〇、〇	四 五三、五
平銀行		五〇、〇	六八、〇
磐越銀行		一二、五	一〇、五
磐城實營		五〇、〇	四〇、〇
磐城實新		三〇、〇	二七、〇
田村實銀		一二、五	一二、五
四倉銀行		一七、五	一七、五
農工銀行		二〇、〇	二四、五
同　新		一五、〇	一八、八
百七銀行		五〇、〇	五五、〇
同　新		一二、五	一六、〇
七七銀行		一二、五	九、八
郡山電氣		五〇、〇	三七、五
同　新		二五、〇	一七、五
只見川電		一二、五	七、〇
植田水電		一二、五	一五、五
好間水電		一二、五	一三、〇
磐城建物		一二、五	五、〇
磐城製菓		二〇、〇	四、〇
平信託		五〇、〇	二五、〇
磐城勸業		一二、五	一三、五
植田物産		三〇、〇	二六、〇
平製氷		二五、〇	二〇、〇
好間軌道		五〇、〇	三〇、〇
入山新		三二、五	一七、〇
小田炭礦		二五、〇	五、〇
磐城炭礦		五〇、〇	四一、〇
同　新		二二、五	一八、〇
磐城セメン		五〇、〇	六四、五
同　新		三五、〇	四三、五
平運送		一二、五	八、〇

賣買誠實懇切機敏に御取扱申候間多少に不拘御用命願上候

平町田町　電話三二二番
丸登株式店
川添房二郎

（一）　常磐毎日新聞（第二百四十三號）　大正十二年一月八日第三種郵便物認可

常磐毎日新聞

九月十二日夕刊

定價　一部金貳錢　一ヶ月壹圓　郵稅五厘料　廣告　五號十二字詰一行五十錢　休刊日　日曜大祭日　祝日ノ翌日

福島縣石城郡平町鎭治町十一　印刷所　本社專屬　磐陽社

發行兼編輯人　川崎文治

福島縣石城郡平町長橋町廿五番地　發行所　常磐毎日新聞社

寄書

世界の大勢は軍縮

小林紫電

本紙上に於て大分軍縮後に於ける國防の充實に關し少年義勇團の編成、或は學生の軍隊教練等が論議されつゝある、余は夫等の議論に對し決して不同意を唱ふるものではないが夫等の議論のあるを幸として軍縮問題に就いての感ずる處を述べて見たい、即ち這般の軍縮は世界大勢に反し國家の前途を危くするものであるとなし大いに反對運動を爲しつゝあるものもある樣であるがこれ等に對し余は寧ろ彼等こそ世界の大勢の如何なるものであるかを知らざるをシ笑するものである、現に佛國にせよ、伊太利にせよ、米國にせよ、裏面の事情は如何にあるにせよ、表面は兎に角軍縮を斷行して居る現に佛國の如きルール問題の紛糾の爲め一時止むを得ず軍備の擴張を敢てしたが今や此問題も漸く一段落を告げたので以前に比し軍備縮少に從事することゝなつかことは事實である又米國に見るも近く第二次軍縮會議を起さんとして焦慮しつゝある從つて世界の軍備問題につき大いに輿論を喚起せんとする決心あるは明瞭である、此時に當り我國が此大勢に顧慮する處なく依然として軍備の充實に全力を注ぐに於ては左なきだに孤立の地位にある我國を益々無援孤獨の域に陷らしむる惧がある、殊に我國を目して軍國主義、帝國主義の權化なりと非難してやまざる歐米諸國は此際帝國の態度を如何に見るであらうか、元より帝國の態度をして各國の非難攻擊の如何は拘らず毅然として起つの勇氣と決心とがあるなれば別であるが今の處各國と協調して行く事が最も大切である以上軍縮は當然の歸結であると云はねばならぬ

畫餅を夢見る 氣の毒な好間の村民

平電氣の事業達成を 唯一の幸福と信じて

△……香坂知事に陳情

石城郡好間村大字北好間字久保志賀長壽、佐藤藤作、佐藤和一、志賀藤一の諸氏は連署を以て此程本縣知事に對し上の原開墾に關する

陳情書 を提出したが同陳情書に依ると「同部落民は年々石炭採掘が減少する爲め益々疲弊に陷り住みなれた鄉土を捨てゝ他に移住するの止むなきに至つたのであるが平電氣會社が水槽を設けて廿八町歩の平原を灌漑して呉れとの事に非常な喜びを以て同事業の遂行に應援し

便宜を 圖つて居た處平水道に惡影響を及ぼすとの故を以て同計劃が撤廢されるのは甚だ遺憾であるから是非同事業を竣工せしめ吾等の期待通り水田開墾を成功せしめて貰ひ度いとの次第を書たらのであつて勿論平企業社に好意を示し

其事業 の完成を翹望して居る事を證據立てたものであるが唯其の中に左の一句がある

「右發電計劃が平水道の用水取入れに對し弊害がありて夫れを除く途なきものならば吾等は隣町平町の不幸を外にして自らの幸福を希ふものにあらざれば右發電計劃は實に容易ならざる永年の期待を成功する事業なれ共茲に潔く斷念せざる可からざる事に候」

しかし縣當局に對し虛僞の文書を提出して迄水利權を獲得し大瀧發電所を設置せんとした平電氣會社が果して同部落民の期待を滿足せしむるだけの設備を構ずるや否やは甚だ

疑問と する處であつて若し畫餅に比しき計劃を徹頭徹尾自分達の幸福として信頼して居るものとすれば氣の毒である

發電所問題で 佐瀨課長と 青沼氏が會見

大瀧發電所問題で平町と平電氣との調停に努めた青沼鋒太郎氏は十日福島市にて佐瀨本縣農商務課長と會見善後策を協議した由

香坂知事の 頭を惱ます

發電所問題

大瀧發電所問題に對し如何なる裁斷を下すか注目の焦點となつて居る香坂知事は多少身體加減が惡い爲め十日は登廳せず官舍に引こもつて居たが東宮奉迎のつかれも拔けず靜養がてら縣治上の問題を考究し殊に大瀧發電所問題では平町民の期待に添ふべく相當頭を惱ましして居るのであると

鹿島消防協議 石城郡鹿島村消防組にては十三日午後一時から役場に於て

礦毒問題に關し 磐炭重役會議を開く

昨日委員と會見の結果

▽……事情を諒として

既報石城郡內鄉村礦毒問題に關し同村農委員は昨日磐城炭礦側と會見種々事情を述べて協議する處あつたが結局磐炭側にては其意を諒とし來る廿一日會社の重役會議に附し其結果を齎らすべしと回答した由

忍かに 被害地踏査

試驗場技師が

郡山農事試驗場高崎技師は昨日忍かに石城郡內鄉村の礦毒被害地を實地踏査した

平署傳達式

御警衛の功勞

攝政宮御警衛の任に當たつた平署の警官并七名に對し宮內省から煙草並に金一對下賜されたるを以つて十五日午前八時より同署樓上に於て傳達式を擧ぐる由

豪雨の爲め 水が溢れた

平町の驚き

今朝來の車軸を流す豪雨に平町の下水堀溢水し午後一時頃は路上を浸して役場通りの横町及び新田町、一丁目、二丁目、南町等には床下浸水家屋も仲々に多く此儘若し降り續くものとすれば到底洪水を免れない處から荷からげをして早速避難し得るだけの用意を整へて居る者もある

（午後二時半記）

幹部會を開き左記事項を協議する由

組頭代理者選定に關する件、第二部及び第三部長選出の件、林野保護組合設置申請の件、盜難豫防關する件、其他消防事務打合せの件

刑務會講演

平町と植田で

石城郡神職會主催講演會は來る廿五日午後一時半から植田小學校に於て、同日午後七時から石城郡役所にて開かれる筈だが講師は全國神職會幹事長今泉定介氏であると

平穩無事な 最後の厄日

今年は豐作

豐作か兇作か多數の農民が非常に心配して居た厄日二百廿日の平地方の天候は午前晴れ、午後薄雲りとなつて僅かな雨を見たが極めて靜穩で今年は先づ稻作豐凶の最後の別れ目である昨日も無事に過す事が出來たから豐作疑ひないと

十三日會講演 平町十三日會は明十三日午後六時半から平銀行樓上に於て磐城高等女學校長櫻井賢文氏の「華人の聲」と題する講演ある由

常磐片々

○

小半日の降雨で平町は洪水騒ぎ、タスケブネ……

○

成程市制は未だ、未だ、

○

炭礦不況で疲弊した好間の一部村民、大瀧發電所の事業達成を懇望して縣知事に陳情

○

溺れる者はワラにもたよるツてネ、御愁傷樣々、

○

是れを見ても農村振興は寧ろ自立自營の精神涵養にしかず

今秋流行の 洋服の型

色は茶系統

昨年から幾分其色彩がないでもないが今年はいが今年は目立つて白つぽい色のものが流行して殊に若向きとしては白目のスコッチ或は茶系統の思ひ切つた明るい地質のが喜ばれるオーバー地としては概して今年は

色物が 多く而もその中で茶色の含んでゐるのが大部分を占めてゐる一般に値段は奢侈稅のため四五割も高くなると豫想されたが實際は僅かに昨年に比し一割位の高値で之は爲替相場の

關係か らで大した事はない、次に型は昨年と比して餘程大きくたつぷりとしたものが流行してるから着工合もよく樂である、全然趣きの

變つた ものでは婦人用の上等コート地で之は從來の如くセル物よりはラクダ物ケシミヤ（シスメ風）の無地色物が流行してゐる紺サージ黑サージは相變す

實用向 きとして需要旺んで値段はスコッチ三揃五六十圓から七八十圓處が一番歡迎されサージ類も大体全樣又オーバーも五六十圓から百圓處がよく歡迎される、

佐川洋服店談

受取らぬ筈 目ぼしい物 は一つもない

平署に對し大正十一年七月十四日から大正十二年一月十四日迄に拾得した品を届出で期限になつても拾得主が受取りに來ない爲め國庫に歸屬した件數は百七十一件であるが成程受取に來ない丈に目ぼしい物はない由

奥井主事視察 本縣產業組合總會に出席の爲め來縣した中央金庫主事法學士奥井平四郎氏は尾形本郡產業主事の案內にて大浦、四倉、江名の信用組合を視察し本日歸京した、

竹馬會總會 平町竹馬會は明十三日午後七時から

募集 文藝其他一般投稿を募集します

家庭欄

殘つたヘツト

一度使つたヘットやラードは熱いうちに脫脂綿で汚れをこしとり、冷たい所へ貯へますあまり幾度も使つたものは油がうすくなつゝ揚物には適しませんから、さういふものは肉や野菜を燒いたり、いためたりする時に用ふ方がよろしいです、

バタの貯へ方 バタを腐敗させぬやうにするには、バタを入れた器を冷水の中につけ、その器の上から布をかぶせて、布の端が水の面につくやう垂れ下げておきます、すると水か布に傳つて上にのぼり絶えず器の中を冷しますからバタも容易に腐敗しないのです水は度々取換へなくてはなりません、またバタを布に包んで鹽水の中に入れて置くもよろしい

人事

▲出生

△南町　野口長治氏三女サト

△古銀治町　黑崎明雄氏長男一男

△二丁目　望月幸太郎氏二女サツエ

△一丁目　明智安太郎氏二男正

△死亡

▲田町　廣瀨タマ（七六）